

## 2 電気の使用面での取組み

お客さまの節電・省エネにつながる取組みを進めるとともに、当社自らの一層の節電・省エネ活動を徹底しています。

### (1) お客さまの節電・省エネにつながる取組み

#### ～ 一般お客さまに対する取組み ～

お客さまにムリなくムダなく上手に電気を使っていただく省エネルギーの提案を中心とした「省エネ快適ライフ」を推進しています。

#### ● 省エネのPR

省エネ・省CO<sub>2</sub>活動に取り組んでいただく際に役立つ情報を、わかりやすく紹介したパンフレットをお客さまに配布するとともに、ホームページなどでも省エネのPRを行っています。また、各営業所のホームアドバイザーが、上手な電気の使い方などを紹介する講座を開いています。



パンフレット

詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > よくわかる電気の省エネ

#### ～ 法人お客さまに対する取組み ～

お客さまへの設備の運用改善や、ヒートポンプをはじめとする高効率機器への更新等による節電・省エネ提案など、エネルギー効率向上に資する活動を展開しています。



当社ホームページにおける省エネ関連情報

詳細は九州電力ホームページ  
関連・詳細情報 (P2参照) > 省エネ関連情報  
節電対策のご紹介

### (2) 当社事務所における節電・省エネへの取組み (オフィス電力使用量の削減)

当社では、これまでも省エネルギーに積極的に取り組んできましたが、厳しい電力需給等を踏まえ、昨夏から継続して、従来から更に踏み込んだ節電にグループ一体となって徹底して取り組んでいます。2011年度のオフィス電力使用量は69百万kWhとなり、2010年度比で約16%削減(▲12百万kWh)しました。さらに、今夏については、照明・エレベーターの更なる間引きやクールビズの拡大などの追加対策に取り組ましました。

#### ● ビル・エネルギー管理システム (BEMS) の活用

事業所におけるエネルギー使用実態(時間別・用途別の電力使用量等)を見える化し、エネルギー使用の最適化を図るため、ビル・エネルギー管理システム (BEMS) を13事業所(3支社・10営業所、2012年3月末現在)に導入しており、導入事業所でのエネルギー使用量の分析結果や機器の運用改善結果等について、適宜全社に周知・展開することで、着実かつ効率的な省エネへの取組みを進めています。

#### 節電・省エネへの取組状況

項目	従来の夏季省エネにおける主な取組み
空調	・室内温度の目安: 28℃ ・クールビズの励行 など
照明・コンセント	・事務室の昼休みの消灯及び会議室、トイレ等の使用時のみの点灯 ・OA機器の効率的利用(退社時の電源切) など
その他	・近隣階(1～3階程度)へのエレベーター利用の自粛 ・給湯機の省エネモードの活用 など



今夏(2012年度)の主な実施内容	
空調	・設定温度の適正管理(室温28℃から段階的に+1℃程度) ・クールビズの拡大(襟付きポロシャツ、チノパン等) ・原則就業時間内の運転(昼休みの運転停止(食堂除く)、終業後の原則運転停止)
照明・コンセント	・事務室、共用スペース(廊下等)の間引き(50%以上) ・事務室の終業時刻の一斉消灯及び残業時の使用箇所のみ点灯 ・パソコンの省エネモードの活用及びディスプレイ照度調整の徹底 ・昼休みの消灯(日中(晴天時)は可能な限り消灯) ・テレビ、充電器等の不使用时のプラグ抜き徹底
その他	・エレベーターの間引き運転(終日) [(例)本店: 8台中4台を間引き] ・上下5階は階段利用 ・昼休み時間の変更(夏季のみ [12:10～13:00 → 13:00～13:50]) ・給湯器、冷水機、温水洗浄便座(ヒーター)、エアタオルの停止 ・原則ノー残業(残業時はエリア限定の点灯)

用語集を  
ご覧ください

- ホームアドバイザー
- ヒートポンプ
- ビル・エネルギー管理システム (BEMS)

# 節電にご協力をいただきありがとうございます

原子力発電所の停止に伴い、あらゆる供給力確保対策に取り組みましたが、厳しい需給が予想されたため、昨年の夏以降、皆さまに節電へのご協力をお願いさせていただきました。

特に今年の夏の電力需給は、極めて厳しい見通しとなったことから、7月2日から9月7日（お盆期間の8月13日から8月15日を除く）の平日の9時から20時において、一昨年度比で▲10%程度以上の使用最大電力の節電をお願いしました。

また、万が一に備えた「セーフティネットとしての計画停電の準備」について公表いたしましたが、お客さまのご協力によりまして、計画停電を実施することなく電力の安定供給を行うことができました。

お客さまに対しまして、大変なご不便とご迷惑をお掛けしたことを心よりお詫び申し上げますとともに、節電へのご協力で厚くお礼を申し上げます。

## ● 今夏の節電にあたってお客さまにご協力いただいた取り組み

今夏はお客さまに更なる節電にご協力いただくため、昨冬に引き続きホームページにおいてでんき予報による需給状況の発信などを行いました。また、ご家庭のお客さまに対してピーク料金設定による負荷抑制効果の実証試験を、法人お客さまに対して更なる需要抑制を目的とし

た料金メニューの新設・拡充をそれぞれ実施しています。さらに、大変厳しい需給状況が予想される場合の対策の一つとして、節電アグリゲーター事業者\*を通じてお客さまに更なる節電を要請する契約を締結しました。



でんき予報（当社ホームページ）

\*：個々のお客さまの電力使用状況を管理している事業者で、今夏、当社からの節電要請に応じ、一括して電力需要を抑制管理することが可能な事業者。

メディア等を通じた情報提供と節電のお願い	(当社ホームページ) ・ でんき予報による需給状況の発信 ・ 緊急時の節電ご協力お願いメール ・ 揚水発電の活用方法等の掲載 (その他) ・ 新聞広告・テレビCMによるPR
お客さまへの節電のお願いと上手な電気の使い方等のお知らせ	(ご家庭) ・ 節電の取組事例・効果を記載したチラシの全戸配布 ・ 検針のお知らせ票裏面によるPR (法人お客さま) ・ 個別訪問、ダイレクトメール送付 ・ 各種業界団体を通じたお願い
更なる需要抑制を目的とした料金メニューの拡充	(ご家庭) ・ ピーク料金設定による負荷抑制効果の実証試験を実施（モニター約1,000件） (法人お客さま) [500kW以上のお客さま] ・ 夏季計画調整契約を7月→6月開始へ前倒し ・ スポット負荷調整契約の新設 [500kW未満のお客さま] ・ 夏季計画調整契約の適用範囲拡大（300kW以上へ） ・ 最大需要電力調整割引の新設
節電アグリゲーター事業者との契約締結	・ 大変厳しい需給状況が予想される場合、節電アグリゲーター事業者を通じて高圧500kW未満のお客さまに更なる節電を要請し、電力需要を抑制する契約を締結
自治体へのご協力をお願い	・ 自治体ホームページや広報誌への節電関連記事の掲載

用語集を  
ご覧ください

- 揚水（発電）
- 夏季計画調整計画
- スポット負荷調整契約
- 最大需要電力調整割引

## 当社事務所における「節電」「省エネ・省資源」に徹底して取り組んでいます。

### ビル・エネルギー管理システム (BEMS) を活用した省エネに取り組んでいます。

当グループでは支社と協同で、事業所使用エネルギーの実態把握や改善にBEMSを活用しています。特に、使用量の大きな支社社屋に対して詳細な運用改善に取り組み、▲10～15%という大幅な省エネを達成しました。

昨年から全社をあげて節電への取り組みを強化してきましたが、その節電の成果も数値として把握できました。社員の方々からは「削減量が目に見える」と節電のモチベーションも上がる」といった声をいただき、節電に対する意識向上にも繋がると嬉しく思いました。

今後もBEMSを活用して支社や営業所の運用状況の「見える化」を継続し、更なる運用最適化による建物の省エネを図っていきます。



BEMSデータの分析 (イメージ)



技術本部 建築グループ

こしお まなみ  
**小塩 真奈美**

### 「鹿児島支社 (鹿児島電気ビル建屋)」における節電の取組状況について

環境管理責任者による指導・助言のもと、照明の追加間引きや空調運転時間の短縮、温水洗浄便座・自動販売機の停止など、所員が痛みを伴う節電対策を実践し、2011年度は2010年度と比較して約21%削減することができました。

このような職場環境が厳しい状況下で、マイボトルやお絞りなどによる自主的な暑さ対策に取り組んでいる所員の姿は、節電意識や需給ひっ迫に対する危機感が高いという表れだと確信しています。

これからも、鹿児島支社は、桜島の降灰の影響で窓を開けられないというハンデを負いながらも、所員の協力のもと更なる節電に取り組んでいきます。



スイッチ付近にシールを貼付



鹿児島支社 企画・総務部 総務グループ

たまり けんいち  
**玉利 謙一**

### 環境に配慮した情報・通信システムを提供しています。

情報通信本部では、テレビ会議やWeb会議を提供することによって、コミュニケーション方法の充実を図るだけでなく、会議資料の削減(ペーパーレス化)や、会議参加のための出張が不要になることによるCO<sub>2</sub>排出量の低減など地球環境問題への対応を行っています。

私達のグループでは、次期社内電話システムやIPネットワークの技術研究開発において、社外の検証場所と事務所をテレビ会議で接続することにより、リアルタイムに情報を共有し、適宜上長からの指示を仰ぎながら円滑に検証を進めています。

今後も情報通信本部は低炭素社会の実現に資する情報・通信システムの構築・運営を行っていきます。



検証風景

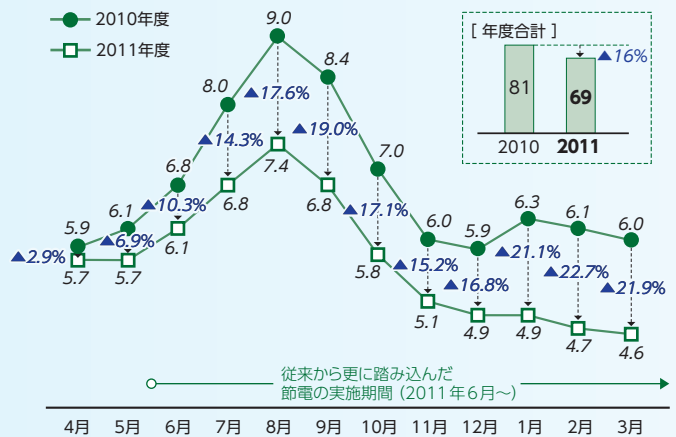


情報通信本部 通信技術グループ

うえき たつり  
**植木 辰典**

### 全社オフィス電力使用量削減実績\* (2011年度：2010年度比約16%削減)

単位：百万kWh



(注) 四捨五入により、電力使用量の差と削減率は一致しない。

※：発電所や研究所など、オフィスのみの電力量が把握できない事業所を除く。



照明間引きを行った執務室内